

はねっと ①

仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サボセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します。

誰かの新しい世界を 広げる場所に

喫茶 frame 店主

いとう あい
伊東 愛さん(44)

仙台市青葉区錦町のとあるマンションの1階に、喫茶 frame があります。隣のフロアには、地元の作家たちが運営するアートギャラリー「SARP」があり、店は展示会を訪れた人や作家で賑わいます。笑顔で出迎えるのは、店主の伊東愛さんです。喫茶店でありながら、額装の作業場があること、仙台ゆかりの作家を中心とした版画作品を観られることが特徴です。数百点もの所蔵作品は、この場所に1975年から2020年12月まであった現代版画を扱う画廊「ギャラリー 青城」から引き継いだものです。伊東さんは、「一つひとつの作品が生まれた背景を紐解くと、当時の仙台の様子や歴史、意外な人とのつながりを知ることができる。価値ある作品を残したい」と、店内で展示しています。

絵を描くことが好きで、仕事をしながら仙台を拠点に創作活動を続けてきました。2019年からSARPの運営に関わってきたのが縁で、SARP運営委員による、ギャラリー 青城閉廊後の空間活用を話し合う会議に参加。「自分が何かやるなんて思っていなかった」と話す伊東さんですが、2021年5月には仕事を辞めて開業。一步を踏み出させたのは、コロナ禍の息苦しさでした。様々な制限の中、自分の暮らす世界が狭められていくような感覚に。「楽しいことをしなきゃもたない。今とは違う視点に立つことが、この閉塞感から抜け出すための希望になると思った」と振り返ります。

「この場所から生まれる出会いや発見が、誰かの新しい世界を広げるきっかけになったなら」。先が見えない日常に、希望の光を灯します。



喫茶 frame

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-12-7門脇ビル1階

営業時間 11:00~19:00 (日曜17:00まで)

定休日 月曜(不定休有り)

Twitter @kissafame



▲ 光が差し込む温かみのある店内



▲ 版画作品を次々に広げて見せる伊東さん



活動を始める一歩を応援します。

保護猫の温もり、一緒に守りませんか？

あなたの暮らす街に野良猫はいませんか？飼い主のいない猫は、公的な施設に保護されても里親が見つからなければ殺処分されています。2020年度、宮城県内の処分頭数は298匹です。現状を変えようと、保護団体やボランティアが猫を引き取り、里親が見つかるまでの命をつないでいます。

保護猫シェルター「おうちにおいで。」(以下、「おうちにおいで。」)は、保護猫と触れ合える猫カフェで、保護団体から常時15匹を預かり、譲渡を行っています。一般的な譲渡会では、慣れない環境で猫が怯え、里親希望者に普通の猫の様子が伝わりません。そのため、譲渡に繋がりにくかったり、里親との相性にミスマッチが生じたりする

ことがあります。「おうちにおいで。」では、まるでリビングのような空間で自由にくつろぐ猫たちに会うことができます。店長の永井貴満子さんは、「自分のおうちに猫がいるような雰囲気を味わって、性格もじっくり見てほしい」と話します。

2017年のオープン以降、「おうちにおいで。」では110匹の猫と新しい家族との縁を結んできました。それでもなお、今も多くの猫が家族との出会いを待っています。また、その間も猫たちの暮らしを守るため、医療、食事、衛生管理の場面で、多くの手助けを必要としています。



私たちにできること

まずは保護猫たちに会いに行ってみませんか？入場料やオンラインストアでの売り上げは、保護猫の医療費やごはん代などの生活費、シェルター運営費に充てられます。

住所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-12-5 6F
TEL 022-352-4024
営業時間 13:00~20:00(19:00受付終了)※月曜定休
入場料 1時間1000円、他



▲ホームページ

第一種動物取扱業者登録情報

申請者：小野夏樹
種別：販売21117010 展示21117011
保管21117012
登録年月日：2021年6月15日
有効期限末日：2026年6月14日
動物取扱責任者：小野夏樹、永井貴満子



活動に+（プラス）したくなる事例やお役立ち情報をご紹介します。

好評発売中 『学童保育のための「おやつ・食事」衛生管理ガイドブック』

今般のコロナ禍で、学童保育や子ども食堂など飲食を伴う活動現場では、各々が独自の感染予防対策に取り組んでいます。一方、公的な衛生管理基準がないことで「自分たちの対策に自信を持ってない」と不安の声もあります。これに対し、学童保育の「食」を考える会が衛生管理についてまとめた冊子を発行しました。衛生面の自信と安心は、多くの制限により失われた楽しい食事の時間を取り戻すきっかけになるかもしれません。

著者 高橋比呂映・平本福子 定価 500 円(税込)
問合せ 学童保育の「食」を考える会・「衛生管理ガイド」事務局 Mail 082guide@gmail.com



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 1月12日(水)、26日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>
[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2022年1月4日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

